

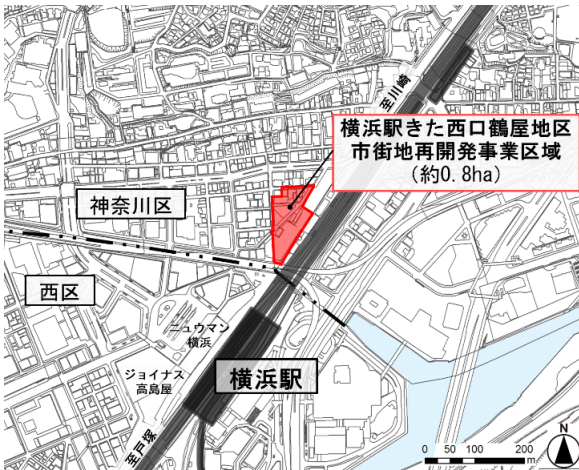
横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業に関する アンケート調査結果について

本市では、市街地開発事業に対する整備効果検証の一環として、事業完了地区の周辺にお住まいの方や、来街者の方などを対象としたアンケート調査を、平成 23 年度から実施しています。

このたび、令和 6 年度に工事が完了した横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業について、令和 7 年 10 月から 11 月にアンケート調査を実施しましたので、調査の結果を報告します。

1 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業の概要

事業名称	横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業
施行者	横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
所在地	神奈川区鶴屋町 1 丁目
地区面積	約 0.8 ha
建物概要 (主要用途)	住宅、店舗、ホテル、サービスアパートメント、 交流施設等
(規模)	地上 43 階 / 地下 2 階



◀再開発事業における主な整備内容▶（工事期間：令和元年 10 月～令和 7 年 1 月）

【再開発ビル】THE YOKOHAMA FRONT
(ザ ヨコハマ フロント)

- 42F 【C】交流施設 (Vlag yokohama)
事業共創をテーマとした交流の場創出
- 5・13～41F / レジデンス
多様な居住ニーズに応じた滞在空間の提供
■戸数 / 459戸
- 4F、6～10F、11～12F 【B】宿泊施設
(相鉄ホテルズ ザ・スプラジール横浜)
グローバルレジデントの短・中期滞在に応える宿泊機能
■部屋数 / 221室
- 1～4F 【A】商業・クリニックモール
グローバルプレイヤーが安心して快適に暮らせる生活支援・利便施設
3階には多言語対応クリニックモール

A. 商業・クリニックモール

B. 宿泊施設

C. 交流施設 (Vlag yokohama)

F. 歩行者デッキ

D. 再開発ビル周辺の道路 (歩道新設)

E. 交通広場 (タクシー乗場)

2 調査概要

調査対象者	調査方法	回答数／配布数
駅周辺の居住者	横浜駅周辺の居住者のうち、無作為に抽出し、郵送にて配布	943／3,000 (回収率 31.4%)
駅周辺の来街者	横浜駅周辺を訪れた来街者へ街頭で配布	492／2,000 (回収率 24.6%)
その他	再開発ビル内の居住者、営業者	

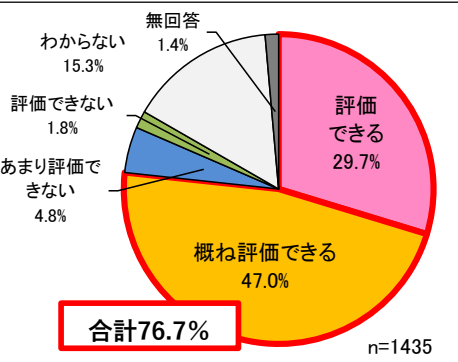
3 調査結果の概要

(1) 再開発事業に対する評価（駅周辺の居住者及び来街者の合計）

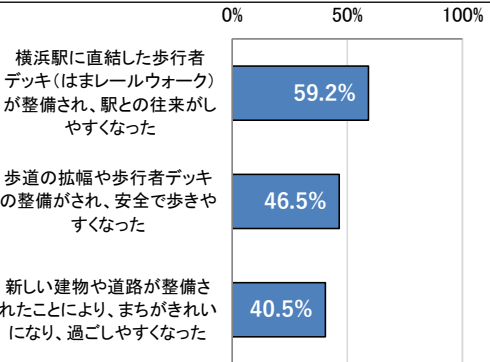
再開発事業に対する評価について、「評価できる」、「概ね評価できる」の回答合計で、76.7%となりました。事業の評価できる点として、「横浜駅に直結した歩行者デッキ（はまレールウォーク）が整備され、駅との往来がしやすくなった」、「歩道の拡幅や歩行者デッキの整備がされ、安全で歩きやすくなった」が特に高く評価されています。

また、横浜駅西口周辺において今後に期待する点として、「周辺の狭い道路や老朽化した建物などの改善に向け、再開発などのまちづくりを広げてほしい」、「緑やゆとりのある空間を増やしてほしい」の回答が特に多い結果となりました。

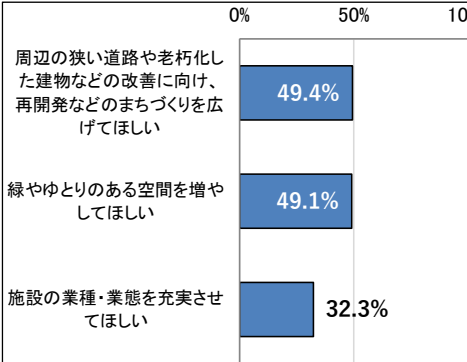
【再開発事業に対する評価】



【評価できる点(上位3項目)】



【今後に期待する点(上位3項目)】



(2) 整備された施設の評価（駅周辺の居住者及び来街者の合計）

再開発事業で整備されたそれぞれの施設に対する評価について、施設を利用したことのある人のうち「満足」、「やや満足」の回答合計がいずれも 75%を超える結果となりました。

そのうち、「歩行者デッキ（はまレールウォーク）」、「歩道新設」、「商業施設・クリニックモール」や「宿泊施設（相鉄ホテルズザ・スプラジール横浜）」が特に満足度の高い結果となっています。

4 アンケート調査の活用について

今回の調査結果は、地域の方々や関係者等で情報共有するとともに、引き続き横浜駅周辺におけるまちづくりに生かしていきます。また、今後も市街地開発事業が完了した地区に対して、事業評価のためのアンケート調査を実施し、結果の分析・検証を通じて、市街地開発事業の計画づくりや事業推進に生かしていきます。

